科目の基礎情報① 授業形態 科目名 保健I 講義 必修選択 保健I 必修 (学則表記) 開講 時間数 単位数 学科 年次 1年 ヘアメイク科 1 30 使用教材 保健I 出版社 社) 日本理容美容教育センター 科目の基礎情報② 適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容 授業のねらい の物理化学」と関連させながら知識の習得する。 人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの 到達目標 質問にも十分に説明できる。 テスト:50% 小テスト:30% 評価基準 授業態度:20% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 美容師国家資格 関連科目 保健Ⅱ 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 担当教員 青柳 光子 実務経験 \bigcirc 実務内容 ヘアサロンにて美容師として20年勤務。海外での実務経験有。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 単元 内容 回数 第1章/頭部、顔部、頸部の体表解剖学 ┃1項 人体各部の名称 2 第1章/頭部、顔部、頸部の体表解剖学 2項 頭部、顔部、頸部の体表解剖学 第2章/骨格器系 1項 骨の種類と構造 2項 骨の連結・骨格器とそのはたらき 4 第2章/骨格器系 3項 骨格器とそのはたらき 第3章/筋系 5 1項 筋の種類とその特徴 2項 主な骨格筋とそのはたらき 3項 表情筋と表情運動 第3章/筋系 4項 理容美容の作業と筋疲労

7	まとめ	まとめを行う		
8	解說	振り返り・解説		
9	第 4 章/神経系	1項 神経系の成り立ち		
10	第 4 章/神経系	2項 中枢神経とそのはたらき 3項 末梢神経とそのはたらき		
11	第5章/感覚器系	1項 視覚 / 2項 聴覚 / 3項 平衡感覚		
12	第5章/感覚器系	4項味覚/5項嗅覚/6項皮膚感覚		
13	まとめ	まとめを行う		
14	解説	振り返り・解説		
15	総まとめ	総まとめを行う		
16	第6章/血液・循環器系	1項 血液のあらまし		
17	第6章/血液・循環器系	2項 血液循環の仕組み		
18	第6章/血液・循環器系	3項 血液の循環経路		
19	第6章/血液・循環器系	4項 心臓と血管のはたらき 5項 リンパ管系の仕組みとはたらき		
20	第7章/呼吸器系	1項 呼吸器系のあらまし 2項 気道		
21	第7章/呼吸器系	3項 肺の仕組みとガス交換 4項 呼吸運動		
22	まとめ	まとめを行う		
23	解説	振り返り・解説		
24	第8章/消化器系	1項 消化器系のあらまし		
25	第8章/消化器系	2項 消化管の仕組み		
26	第8章/消化器系	3項 消化管のはたらき		
27	第8章/消化器系	4項 消化と物質代謝		
28	まとめ	まとめを行う		
29	解説	振り返り・解説		
30	総まとめ	総まとめを行う		

シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 講義 科目名 文化論I 必修選択 必修 (学則表記) 文化論I 開講 単位数 時間数 年次 1年 学科 ヘアメイク科 1 30 使用教材 文化論 社)日本理容美容教育センター 出版社 科目の基礎情報② 美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファション文化史 授業のねらい の流れを習得する。 到達目標 美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。 評価基準 テスト: 50% 課題提出: 30% 授業態度: 20% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 美容師国家資格 関連科目 美容技術理論 | ・美容技術理論 || 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 備考 担当教員 青柳 光子 実務経験 \bigcirc 実務内容 ヘアサロンにて美容師として20年勤務。海外での実務経験有。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開 各回の展開				
回数	単元	内容			
1	第1章 総論 第1節 総論	教科、授業進行の説明。美容師に求められるものについて。用具の説明。			
2	第4章ファッション文化史西洋編 第1節〜第3節 古代エジプト・ギリシャ・ローマ・ゲルマン	古代エジプト・ギリシャ・ローマ・ゲルマンの髪型、化粧、服装について			
3	第4章ファッション文化史西洋編 第4節中世ヨーロッパ	中世ヨーロッパ、16世紀の髪型・化粧・服装について			
4	第4章ファッション文化史西洋編 第5節近世 I (16世紀) 第6節近世 II (17世紀)	16世紀、17世紀の髪型・化粧・服装について			
5	第4章ファッション文化史西洋編 第7節近世III(18世紀)	18世紀の髪型・化粧・服装について			
6	第4章ファッション文化史西洋編 第8節近代 I(18世紀末〜19世紀初め) 第9節近代 II(19世紀)	18世紀、19世紀の髪型・化粧・服装について			
7	第4章ファッション文化史西洋編 第10節現代 I (1910~1920年代) 第11節現代 II (1930~1940年代前半)	1910~1940の髪型・化粧・服装について			
8	テスト アクティブラーニング	テスト、アクティブラーニング			

		,			
9	第4章ファッション文化史西洋編 第12節現代Ⅲ(1940後半~1950年代)	1940~1950の髪型・化粧・服装について			
10	第4章ファッション文化史西洋編 第13節現代IV(1960年代)	1960の髪型・化粧・服装について			
11	第4章ファッション文化史西洋編 第14節現代 V(1970年代)	1970の髪型・化粧・服装について			
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	礼装について			
13	第4章ファッション文化史西洋編 第15節現代VI(1980年代) 第16節現代VII(1990~2010年代)	1980~2010の髪型・化粧・服装について			
14	総まとめ	総まとめを行う			
15	テストと解説	テストと解説を行う			
16	第2章 日本の美容業の歴史 第1節~第2節	第1節理容業・美容業の発生第2節江戸時代の理容業・美容業			
17	第2章 日本の美容業の歴史 第3節~第4節	第3節近代の理容業・美容業第4節現代の理容業・美容業			
18	第3章ファッション文化史日本編 第1節 縄文・弥生・古墳	縄文・弥生・古墳時代の髪型・化粧・服装について			
19	第3章ファッション文化史日本編 第2節 古代 (飛鳥・奈良・平安時代)	古代の髪型・化粧・服装について			
20	テスト 第3章ファッション文化史日本編 第3節 第4節	テストと解説、中世・近世Iの髪型・化粧・服装について			
21	第3章ファッション文化史日本編 第5節 近世 II (江戸時代)	江戸時代の女性の髪型、化粧について			
22	第3章ファッション文化史日本編 第5節 近世 II (江戸時代)	江戸時代の男性の髪型、服装について			
23	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)	明治の髪型・服装・化粧について			
24	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)	大正、昭和(戦前)の髪型・服装・化粧について			
25	テスト 第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代(明治・大正・昭和20年まで)	テストと解説、明治、大正、昭和(戦前)の復習			
26	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代 I (1945~1950年代)	昭和(戦後)の髪型・服装・化粧について			
27	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代 II (1960~1970年代)	1960年代の髪型・化粧・服装について			
28	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代 II (1960~1970年代)	1970年代の髪型・化粧・服装について			
29	テスト解説 第3章ファッション文化史日本編 第9節 第10節	1980~2000年代の髪型・化粧・服装について			
30	テスト、総まとめ	テスト、総まとめを行う			

シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 演習 科目名 美容技術理論 | 必修選択 必修 (学則表記) 美容技術理論 | 開講 単位数 時間数 学科 ヘアメイク科 3 90 年次 1年 使用教材 美容技術理論 | 出版社 社) 日本理容美容教育センター 科目の基礎情報② 授業のねらい 美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。 到達目標 美容師国家試験(筆記)に向けて適切な記述ができる。 評価基準 テスト:50% 小テスト:30% 授業態度:20% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 美容師国家資格 関連科目 技術理論 || 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 担当教員 宮原 理英子他2名 実務経験 \bigcirc 実務内容 ヘアサロンにて美容師として9年勤務後、ウィッグ会社にて10年、福祉美容師として12年勤務。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 回数 単元 内容 ※ 美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明 イントロダクション 1 ・美容理論について・美容技術者としての心構え・安定した姿勢、作業点と姿勢 <序章 美容技術理論を学ぶにあたって> ・作業点と姿勢 ・力の配分と姿勢 ・人体各部の名称 ・美容における頭部の区分 <第1章 美容用具> 1. 美容技術における用具 ・美容の道具、器具、機械、取り扱い方 2. コーム 2 ・コームの種類と各部の名称、選定法、手入れ法・ブラシの種類、選定法と手入れ法

・シザースの種類、各部の名称、選定法と手入れ法

ヘアピンのいろいろ・ロッドの種類

・いろいろな太さのローラー ・ホットカーラー (ローラー)

・ヘアアイロンの種類、各部の名称、選定法と手入れ法

・ヘアスチーマーの選定法・遠赤外線機の役割

・レザーの種類と各部の名称、刃線の形態と力のかかり方、選定法と手入れ法

・ヘアドライヤーの種類と構造 ・タービネートタイプドライヤーの構造

3. ブラシ

7 ロッド

8. ローラー <第1章 美容用具> 9. ヘアアイロン

3

4. シザース <第1章 美容用具> 5. レザー

6. ピン類、ヘアクリップ

10. ヘアドライヤー

11. ヘアスチーマー

12. 遠赤外線機

		_		
5	<第2章 シャンプーイング> 1. シャンプーイング総論 2. サイドシャンプー 3. バックシャンプー	・シャンプーイングの目的、施術の内容による目的の違い、メカニズム ・シャンプー剤の成分、種類・シャンプーイングの際の注意・シャンプー技術のプロセス ・ブラッシング・ファースト、セカンドシャンプー・バックシャンプーの手順、指の動き		
6	<第2章 シャンプーイング> 4. リンス、コンディショナー・トリートメント	・リンス、コンディショナー、トリートメントの役割、違い、成分・リンスの目的、種類、技術・コンディショナーの目的・ヘアトリートメントの目的、種類技術の一例		
7	<第2章 シャンプーイング> 5. スキャルプトリートメント 6. ヘッドスパ	 ・スキャルプトリートメントの目的、要素、種類・頭皮のトラブルのいろいろ ・育毛剤の成分とはたらき・ノーマルスキャルプトリートメント技術の一例 ・スキャルプマッサージ技術の目的と手順 ・ヘッドスパのプロセス、リラクセーションマッサージ 		
8	前期まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲:序章~第2章】		
9	<第5章 パーマネントウェービング> 1. パーマネントウエーブの歴史と現在 2. パーマネントウエーブの理論 3. パーマ剤の分類	・パーマネントウエーブをはじめとする美容関係の歴史・毛髪の構造について ・ウエーブが形成される仕組み・パーマ剤の分類、種類		
10	<第5章 パーマネントウェービング> 4. パーマ剤に関する注意事項 5. パーマネントウエーブ技術	・使用前、操作中に関する注意事項 ~ スタイリング		
11	<第5章 パーマネントウェービング> 6. ワインディングのバリエーション 7. 縮毛矯正(高温整髪用アイロン使用)	・ワインディングにおける応用I~カウンセリング(プレーン&仕上げ)		
12	<第3章 ヘアデザイン> 1. 美容とデザイン	・錯覚現象を美容に生かそう・デザインの要素		
13	<第3章 ヘアデザイン> 1. 美容とデザイン	・デザインの原理		
14	前期期末まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲:第5章・第3章】		
15	総合授業	総まとめを行う		
16	<第4章 ヘアカッティング> 1. ヘアカッティングとは 2. シザーズとレザーの扱い方 3. 美容刃物 4. ヘアカッティングの正しい姿勢	・シザーズ、レザーの持ち方等・刃物の材質、材料、正しい姿勢の基本		
17	<第4章 ヘアカッティング> 5. ブロッキング 6. ヘアカッティングの基礎理論 7. ベーシックなカット技法	・頭部の基礎分割線・基準となる頭部のポイント、スライスの種類・パネルと頭皮の角度・毛先が集まる位置とカットラインの関係・パネルの幅や長さとカットラインの関係・パネルの角度とシルエットの関係・ラインの設定法 ・ワンレングスカット・グラデーションカット・レイヤーカット・セイムレングスカット		

18	<第4章 ヘアカッティング> 8. シザーズによるカット技法 9. レザーによるカット技法	・シザーズによるカット技法、ストロークの分類・レザーによるカット技法のいろいろ、テーパーカットの分類		
19	後期中間まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲:第4章】		
20	<第6章 ヘアセッティング> 1. ヘアカッティングとは 2. ヘアパーティング 3. ヘアシェーピング	・オリジナルセットの基本的な要 ~ ストランドシェープ、フィンガーウエーブ時の持ち方		
21	<第6章 ヘアセッティング> 4. ヘアカーリング	・オリジナルセットの基本的な要 〜 ストランドシェープ、フィンガーウエープ時の持ち方・カール各部の名称、分類 〜 クロッキノールカール技術の一例		
22	<第6章 ヘアセッティング> 5. ヘアウエービング 6. ローラーカーリング	・ヘアウエーブの名称、分類 ~ ローラーウエーブ ・ベースの幅と厚さ		
23	<第6章 ヘアセッティング> 7. ブロードライ 8. アイロンセッティング	・ハンドドライヤーとブラシの基本操作・アイロンの持ち方		
24	9. バックコーミング 10. アップスタイル 11. ウイッグとヘアピース	・バックコーミング・アップスタイル・ウィッグ、ヘアピース手入れ法		
25	<第7章 ヘアカラーリング> 1. ヘアーカラーリング概要 2. ヘアカラーの種類 3. ヘアカラーのタイプ別特徴 4. 染毛のメカニズム	・ヘアカラーリングの歴史、種類 〜 タイプ別染毛メカニズム		
26	<第7章 ヘアカラーリング> 5. 染毛のメカニズム 6. 色の基本 7. 毛髪のレベルとアンダートーン	・ヘアカラーの色選び〜アンダートーン		
27	<第7章 ヘアカラーリング> 7. パッチテスト 8. 染毛剤使用時の注意 9. ヘアカラーリングの道具 10. 酸化染毛剤の技術手順 11. 酸性染毛剤料の技術手順 12. ヘアプリーチ	・染毛剤と皮膚炎 ~ ・ヘアカラーリング専用の施術道具・バッチテスト ~ ・ヘアブリーチのブロッキング一例		
28	後期期末まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲:第4章・第7章】		
29	まとめ・解説	まとめ・解説を行う		
30	総合授業	総まとめを行う		

科目の基礎情報① 授業形態 科目名 衛生管理 I 講義 必修選択 衛生管理 I 必修 (学則表記) 開講 時間数 単位数 学科 年次 1年 ヘアメイク科 1 30 使用教材 衛生管理 出版社 社) 日本理容美容教育センター 科目の基礎情報② 公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面 授業のねらい についての理解する。 不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけではなく、 到達目標 業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。 テスト:50% 小テスト:30% 評価基準 授業態度:20% 出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 美容師国家資格 関連科目 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 担当教員 山本 和平 実務経験 \bigcirc 実務内容 薬剤師として病院勤務。糖尿病の患者様への説明会や講習会などの経験を持つ 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 単元 回数 内容 第1編 公衆衛生 美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明 1章公衆衛生の概要 健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割 第1編 公衆衛生 「母子保健」・「成人・高齢者保健」・「精神保健」 2章保健 第1編 公衆衛生 「母子保健」・「成人・高齢者保健」・「精神保健」 2章保健 第1編 公衆衛生 「母子保健」・「成人・高齢者保健」・「精神保健」 2章保健 第2編 環境衛生 環境衛生の内容・目的・意義・活動 1章環境衛生の概要・空気環境 空気の成分と有毒ガス 温度・湿度・風と健康 第2編 環境衛生 環境衛生の内容・目的・意義・活動

空気の成分と有毒ガス 温度・湿度・風と健康

1章環境衛生の概要・空気環境

7	第2編 環境衛生 1章環境衛生の概要・空気環境	環境衛生の内容・目的・意義・活動 空気の成分と有毒ガス 温度・湿度・風と健康	
8	第2編 環境衛生 1章衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	
9	第2編 環境衛生 1章衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	
10	第2編 環境衛生 1章衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	
11	第2編 環境衛生 1章衛生害虫とネズミ・環境保全	衛生害虫とネズミ・環境保全	
12	第2編 環境衛生 1章衛生害虫とネズミ・環境保全	衛生害虫とネズミ・環境保全	
13	まとめ	まとめを実施する。	
14	解説	振り返り・解説	
15	総まとめ	総まとめを行う	
16	第3編 感染症 1章感染症の概要	美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明 健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割	
17	第3編 感染症 1章感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史・法律、感染症の分類	
18	第3編 感染症 1章感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史・法律、感染症の分類	
19	第3編 感染症 1章感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響	
20	第3編 感染症 1章感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響	
21	第3編 感染症 1章感染症の総論③	感染症の予防免疫と予防接種・予防のための3原則	
22	第3編 感染症 1章感染症の総論③	感染症の予防免疫と予防接種・予防のための3原則	
23	第3編感染症 2章感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策	
2/	第3編感染症 2章感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策	
25	第3編感染症 2章感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策	
26	第3編感染症 2章感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策	
27	第3編感染症 2章感染症の各論③	具体的な対策の例	
28	まとめ	まとめを実施する。	
29	解説	振り返り・解説	
30	総まとめ	総まとめを行う	

科目の基礎情報① 授業形態 美容実習 I - A 実技 科目名 必修選択 必修 (学則表記) 美容実習 I - A 開講 単位数 時間数 年次 ヘアメイク科 3 90 1年 学科 ワインディング教材一式 衛生教材一式 公益財団法人 改正美容師実技試験課題衛生と技術の解説 使用教材 出版社 理容師美容師試験研修センター 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート 科目の基礎情報② 美容師国家試験第2課題ワインディング技術について基礎を理解し習得する 授業のねらい 到達目標 美容師国家試験第2課題ワインディング技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す 評価基準 総まとめ40% まとめ30% 提出物20% 授業態度10% ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 美容師国家資格(実技) 関連科目 美容技術理論 | 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 担当教員 長瀬 亘輝 他16名 実務経験 \bigcirc 企業サロン、個人サロン、都内サロン、業務委託兼トータルビューティーサロンなど様々な形態のサロンにて

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

	各回の展開				
回数	単元	内容			
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認(道具名称・扱い方・管理方法)、机上セッティング ウイッグの取り扱い、コームワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、ブロッキング構成習得 国家試験衛生			
2	ワインディング	コームワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、ブロッキング構成習得、復習、強化、 ブロッキング計測10分			
3	ワインディング	ブロッキング構成習得、復習、強化、ブロッキング計測10分~7分、上巻き下巻き導入			
4	ワインディング	ブロッキング構成、計測7分~5分、上巻き下巻き復習、センター導入、習得			
5	ワインディング	ブロッキング構成、計測5分、上巻き、下巻き、センター巻き、復習、強化			
6	ワインディング まとめ	ブロッキングまとめを実施する 計測 5 分、コームで取るブロッキング(12ブロック)導入、計測 5 分、 センター強化、計測センター15分、フロント導入、構成			

5年間美容師として勤務。コンテストでは全国大会上位入賞の経験あり。

実務内容

7	ワインディング	プロッキング(コーム、12プロック)計測4分、センター強化、計測センター12分~10分、フロント復習、強化、 計測1本1分、両バックサイド導入		
8	ワインディング	ブロッキング(コーム、12ブロック)計測4分、センター強化、計測センター10分~7分、 フロント、バックサイド復習、強化、計測1本1分~45秒、両ネープ導入		
9	ワインディング	プロッキング (コーム、12 ブロック) 計測 4 分、センター計測 7 分、フロント、両バックサイド復習、強化、計測 1 本 4 5 秒、両ネープ復習、強化、サイド導入		
10	ワインディング	プロッキング (コーム、12 ブロック) 計測 4 分、センター計測 7 分、フロント、両バックサイド強化、 計測 1 本 4 0 秒 ~ 3 5 秒、両ネープ、サイド復習、強化		
11	ワインディング	ブロッキング(コーム、9ブロック)計測4分~3分、センター計測7分~6分30秒、フロント、両バックサイド強化、 計測35秒~30秒、全頭巻き計測35分		
12	ワインディング	ブロッキング (コーム、9 ブロック) 計測 4 分~ 3 分、センター計測 6 分 3 0 秒、フロント、両バックサイド計測 3 0 秒、全頭巻き計測 3 5 分~ 3 0 分		
13	ワインディング	ブロッキング (コーム、9 ブロック) 計測 3 分、センター計測 6 分 3 0 秒、両バックサイド計測 3 0 秒 ~ 2 7 秒、全頭巻き計測 3 5 分 ~ 3 0 分		
14	ワインディング 総まとめ	ワインディング総まとめを実施する 計測ブロッキング(コーム、9ブロック)3分、全頭巻き30分		
15	総合授業	前期振り返り		

シラバス 科目の基礎情報① 美容実習 I - B 授業形態 実技 科目名 美容実習 I - B 必修選択 必修 (学則表記) 開講 単位数 時間数 年次 1年 学科 ヘアメイク科 3 90 公益財団法人 シャンプー教材一式 美容技術理論 | 理容師美容師試験研修センター 使用教材 出版社 ヘアアレンジー式、ヘアアレンジテキスト ユアサポート 科目の基礎情報② 【シャンプー】シャンプーイングの目的と頭皮毛髪の基本的知識を習得し、施術内容によるシャンプーイングの違 授業のねらい 【ヘアアレンジ】頭部の名称からヘアアレンジの基礎技術・現場での基礎技術を出来る様にする 【シャンプー】 シャンプーイングの目的を理解しシャンプー技術のプロセスを身に付ける 到達目標 【ヘアアレンジ】 ブラッシング・ピニングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。 編み込みやコテの使用等のヘアアレンジが出来る様になる。就職活動に必要なセルフテクニックを知る。 ・シャンプー50% (総まとめ25% まとめ15% 授業態度10%) 評価基準 ・ヘアアレンジ50%(実技テスト30%、授業意欲20%) ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 美容技術理論Ⅰ、テクニカルヘアメイク ・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「シャンプーイング」「ヘアアレンジ」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別 備考 に記載する。 担当教員 長瀬 亘輝 他16名 実務経験 \bigcirc 企業サロン、個人サロン、都内サロン、業務委託兼トータルビューティーサロンなど様々な形態のサロンにて5年 実務内容 間美容師として勤務。コンテストでは全国大会上位入賞の経験あり。

	各回の展開【シャンプーイング】				
回数	単元	内容			
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認(道具名称・扱い方・管理方法) シャンプー台の利用の仕方、シャンプー知識			
2	シャンプーイング	ブラッシング、シャワーヘッドの使用方法、シャンプープロセスの理解			
3	シャンプーイング	シャンプーのプロセスの復習			
4	シャンプーイング	プレシャンプー			
5	シャンプーイング	シャンプー手順 1シャンプー			

6	シャンプーイング	1シャンプー、リンス、コンディショナー、トリートメント			
7	シャンプーイング	1シャンプー、トリートメントプロセス			
8	シャンプーイング まとめ	シャンプーイング まとめを実施する 1シャンプー~トリートメントプロセス 振り返り			
9	シャンプーイング	2シャンプー、スキャルプトリートメント			
10	シャンプーイング	2シャンプー、スキャルプトリートメント			
11	シャンプーイング	2シャンプー、スキャルプトリートメント・ヘッドスパ(プロセス)			
12	シャンプーイング 総まとめ	シャンプーイング 総まとめを実施する 2シャンブー、スキャルプトリートメント 振り返り			
13	シャンプーイング	ヘッドスパ(リラクゼーションマッサージ)			
14	シャンプーイング	ヘッドスパ(リラクゼーションマッサージ)			
15	総合授業	シャンプー技術振り返り			
		各回の展開【ヘアアレンジ】			
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション 毛髪頭部名称、ブラッシング	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認、 毛髪知識、頭部名称			
2	ブロッキング ポニーテール	プロッキング、ポニーテール導入			
3	ポニーテール 三つ編み	ポニーテール反復練習 三つ編み導入			
4	ポニーテール 編み込み・フィッシュボーン	ポニーテール反復練習 編み込み・フィッシュボーン導入			
5	ポニーテールテスト スタイル作り①	ポニーテールテスト、振り返り 学んだテクニックを使いスタイルを作る			
6	スタイル作り②	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り			
7	ホットカーラー	ホットカーラー導入			
8	ホットカーラー ピニング	ホットカーラー反復練習 ピニング導入			
9	ホットカーラー/ピニング/逆毛	ホットカーラー、ピニング反復練習 逆毛導入			
10	ホットカーラー/ピニング/逆毛/シニ ヨンスタイル導入	ホットカーラー、ピニング、逆毛反復練習、シニヨンスタイル反復練習			
11	アイロン シニヨンスタイル	アイロン導入 シニヨンスタイル反復練習			
12	アイロン シニヨンスタイルテスト	アイロン反復練習 シニョンスタイルテスト			
13	スタイル作り③	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り			
14	テスト 相モデルスタイル作り	実技テスト 人頭を使ってスタイルをつくる			
15	総合授業	まとめを行う			

シラバス

科目の基礎情報①						
授業形態	実技	科目名	美容実習 I - C			
必修選択	必修	(学則表記)		美容実習	∄ I - C	
		開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク和	斗	3	90
使用教材	メイク道具一式	ル実技マニュア	ル 美容実習ノート	出版社	公益財団法人理容師美容師試験研	F修センター
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	【国家試験カット】美容師国家試験第1課題レイヤーカットの構成 基礎知識を習得する 【トレンドメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする					
到達目標	【国家試験カット】国家試験第1課題レイヤーカット技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す 【トレンドメイク】ショーメイク、スチール撮影(メイク技術の基礎を理解し、技術ができるようになる)					
評価基準	美容実習50%(総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5%) トレンドメイク50%(実技テスト30%、授業意欲20%)					
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者・成績評価が2以上の者					
関連資格	美容師国家資格					
関連科目	美容技術理論 ・美容実習 - D カラー&ファッション、ベーシック・パーソナルメイク・テクニカルへアメイク					
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「トレンドメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に 記載する。					
担当教員	長瀬 亘輝 他16	名		実	医務経験	0
実務内容	内容 企業サロン、個人サロン、都内サロン、業務委託兼トータルビューティーサロンなど様々な形態のサロンにて 5 年間美容師として勤務。コンテストでは全国大会上位入賞の経験あり。					

	各回の展開【国家試験カット】				
回数	単元	内容			
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認(道具名称・扱い方・管理方法)机上セッティング シザーの開閉、シザーワーク、コームワーク、姿勢、ボディポジション 国家試験衛生			
2	国家試験カット	ブロッキング、各ブロックの名称、プロッキングの取り方、ブロッキング計測			
3	国家試験カット	プロッキング(取り方、計測)、ヘムライン			
4	国家試験カット	プロッキング(取り方、計測)、ヘムライン、第3プロック			
5	国家試験カット	ブロッキング計測、第3ブロック、第2ブロック			
6	国家試験カット まとめ	ブロッキング計測まとめを実施する、第3プロック、第2プロック			

7	国家試験カット	第2ブロック、第1ブロック
8	国家試験カット	第1ブロック、バックのカット修正
9	国家試験カット	パックのカット修正、フェイスライン、フロント
10	国家試験カット	フェイスライン、フロント、サイド
11	国家試験カット	サイド、チェックカット、カッティング手順再確認、計測
12	国家試験カット	チェックカット、国家試験カット手順再確認、計測
13	国家試験カット	国家試験カット手順再確認、計測
14	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット総まとめを実施する 振り返り
15	総合授業	前期振り返り
		各回の展開【トレンドメイク】
回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 ベースメイク導入、実践
2	メイクの歴史①	古代~中世~近代のメイクについて (時代背景や特徴について)
3	メイクの歴史②	年代別 20、30、40
4	年代別のメイク①	年代別 50
5	年代別のメイク②	年代別 60
6	年代別のメイク③	年代別 70、80
7	年代別のメイク④	年代別 90、2000
8	年代別のメイク⑤	年代別の技術まとめ フルメイクテスト、振り返り
9	スチールメイク①	スチールメイク(トレンド)制作(導入、実践) テーマに合わせて行う
10	スチールメイク②	スチールメイク(トレンド)制作(実践) テーマに合わせて行う
11	スチールメイク③	スチールメイク(トレンド)制作(実践) テーマに合わせて行う
12	スチールメイク④	スチールメイク(トレンド)制作(テスト) テーマに合わせて行う
13	スチールメイク⑤	テーマに合わせた作品制作
14	スチールメイク⑥	テーマに合わせた作品制作
15	総合授業	まとめを行う

シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 科目名 美容実習 I - D 実技 必修選択 必修 (学則表記) 美容実習 I - D 開講 単位数 時間数 年次 1年 学科 ヘアメイク科 3 90 オールウエーブ教材一式 カッティング教材一式 衛生教材一式 公益財団法人 使用教材 出版社 理容師美容師試験研修センター 改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート 科目の基礎情報② 美容師国家試験第1課題カッティングの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 授業のねらい 美容師国家試験第2課題オールウエーブ技術について基礎を理解し習得する 到達目標 国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウエーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す オールウエーブ:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 評価基準 国家試験カット:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 美容師国家資格(実技) 関連科目 美容技術理論 | · 美容実習 | - C ・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 備考 ・この科目は「オールウエーブセッティング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」

は、領域別に記載する。

担当教員

実務内容

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

実務経験

	自然仏儿寺により技業の展開が支わることがあります				
	各回の展開【オールウエーブセッティング】				
回数	単元	内容			
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 教材確認(教材の名称、扱い方、管理方法)、ウイッグ事前仕込み(カット)			
2	オールウエーブセッティング	ウィッグ事前仕込み(カット、パーマ)			
3	オールウエーブセッティング	ウィッグ事前仕込み(カット、パーマ)			
4	オールウエーブセッティング	ウィッグ事前仕込み(カット、パーマ)机上セッティング、道具確認 7段構成の展開図及び構成完成図の手順確認、ローション塗布、ウェーブ基本導入			
5	オールウエーブセッティング	ローション塗布、ウエーブ基本導入、ウェーブ、リッジ復習、強化 1段目馬蹄シェープ、スカルプチュアカール(スライス、手順、ピニング)			
6	オールウエーブセッティング	ウエーブ、リッジ復習、強化、1段目馬蹄シェープ、スカルプチュアカール(スライス、手順、ピニング)2段目ウエーブ、リッジ導入			
7	オールウエーブセッティング	1段目馬蹄シェープ、スカルプチュアカール(スライス、手順、ピニング)、計測7分 2段目ウエーブ、リッジ復習、強化 3段目導入(ウエーブ、リッジ、スカルプチュアカール)			
8	オールウエーブセッティング	1段目馬蹄シェープ、スカルプチュアカール(スライス、手順、ビニング)、計測7分~5分 2段目ウエーブ、リッジ復習、強化、計測7分~5分 3段目ウエーブ、リッジ、スカルプチュアカール復習、強化			

9	オールウエーブセッティング	1段目馬蹄シェープ、スカルプチュアカール(スライス、手順、ビニング)、計測 7 分~ 5 分 2段目ウエーブ、リッジ復習、強化、計測 7 分~ 5 分 3 段目ウエーブ、リッジ、スカルプチュアカール復習、強化、計測 1 0 分~ 8 分		
10	オールウエーブセッティング	1段目馬蹄シェープ、スカルプチュアカール(スライス、手順、ピニング)、計測 5 分 2段目ウエーブ、リッジ復習、強化、計測 5 分 3段目ウエーブ、リッジ、スカルプチュアカール復習、強化、計測 1 0 分~8 分		
11	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティングまとめを実施する 1段目~3段目計測18分 右側、左側ウエーブ、リッジ、くり抜き導入		
12	オールウエーブセッティング	1~3段目構成、計測18分~15分 右側、左側ウエーブ、リッジ、くり抜き復習、強化		
13	オールウエーブセッティング	1~3段目構成、計測15分 右側、左側ウエーブ、リッジ、くり抜き復習、強化、計測左右各6分~5分		
14	オールウエープセッティング 総まとめ	オールウエープセッティング総まとめを実施する $1 \sim 3$ 段目、右側・左側ウエーブ、リッジ、くり抜き計測 2 7 分		
15	総合授業	後期振り返り		
		各回の展開【国家試験カット】		
回数	単元	内容		
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認(道具名称・扱い方・管理方法)、机上セッティング 前期再確認、シザーの持ち方、開閉、シザーワーク、コームワーク、姿勢、ボディポジション、カッティング手順再確 認 国家試験衛生		
2	国家試験カット	カッティング手順再確認(手順、ボディボジション、チェックカット)計測30分		
3	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測(カッティングのみ)18分~16分 (チェックカット込み)22分~20分		
4	国家試験カット	カッティング手順再確認(手順、ボディポジション、チェックカット)計測25分		
5	国家試験カット	カッティング手順再確認(手順、ボディポジション、チェックカット)計測25分		
6	国家試験カット	カッティング手順再確認(手順、ボディポジション、チェックカット)計測25分		
7	国家試験カット まとめ	カッティングまとめを実施する 計測25分		
8	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測25分~20分		
9	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測25分~20分		
10	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測(カッティングのみ)20分		
11	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測(カッティングのみ)20分~18分		
12	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測 (カッティングのみ) 18分 (チェックカット込み) 22分~20分		
13	国家試験カット 総まとめ	カッティング総まとめを実施する 計測20分		
14	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測 (カッティングのみ) 18分~16分 (チェックカット込み) 22分~20分		
15	総合授業	後期振り返り		

シラバス

科目の基礎情報① 授業形態 美容実習 | - E 実技 科目名 美容実習 I - E 必修選択 (学則表記) 必修 開講 単位数 時間数 年次 ヘアメイク科 1年 学科 3 90 ワインディング教材一式 衛生教材一式 公益財団法人理容師美容師試験研修セ 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 ンター 使用教材 出版社 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート ユアサポート メイク道具一式 科目の基礎情報② 【ワインディング】美容師国家試験第2課題ワインディング技術を試験時間内に巻くことができ、国家試験レベルの技術を習 授業のねらい 得する 【トレンドメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする 【ワインディング】美容師国家試験第2課題ワインディング技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す 到達目標 【トレンドメイク】ショーメイク・スチール撮影(メイク技術の基礎を理解し、技術ができるようになる) ワインディング:総まとめ20% まとめ15% 提出物10% 授業態度5% 評価基準 トレンドメイク:50%(実技テスト20%、提出物15% 授業意欲15% ・出席が総時間数の5分の4以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 美容師国家資格(実技) 【ワインディング】美容実習 I-A、美容技術理論 I 関連科目 【トレンドメイク】カラー&ファッション、ベーシック・パーソナルメイク、テクニカルヘアメイク ・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 備考 ・この科目は「ワインディング」「トレンドメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別 に記載する。 実務経験 担当教員 実務内容

	各回の展開【ワインディング】			
回数	単元	内容		
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、教材確認(扱い方、管理方法) 前期復習		
2	ワインディング	プロッキング3プロック1分、全頭巻き計測25分		
3	ワインディング	プロッキング3プロック1分、全頭巻き計測25分		
4	ワインディング	プロッキング3プロック1分、全頭巻き計測23分		
5	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測23分		
6	ワインディング まとめ	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測23分 まとめを実施する		

7	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測22分	
8	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測22分	
9	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測20分	
10	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測20分	
11	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測20分	
12	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測20分	
13	ワインディング 総まとめ	ブロッキング込み全頭計測20分 総まとめを実施する	
14	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測20分	
15	総合授業	後期振り返り	
		各回の展開【トレンドメイク】	
回数	単元	内容	
1	ショーメイク①	立体感や骨格をとらえたメイク(導入、実践)	
2	ショーメイク②	Wラインの使ったメイク(導入、実践)	
3	ムービーメイク①	ムービーで行うメイク	
4	ムービーメイク②	ムービーで行うメイク	
5	コンテストメイク①	テーマに合わせたメイクを行う	
6	コンテストメイク②	テーマに合わせたメイクを行う	
7	作品作り①	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り	
8	作品作り②	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り	
9	スチールメイク①	テーマに合わせた作品制作に向けてのメイク	
10	スチールメイク②	テーマに合わせた作品制作に向けてのメイク	
11	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作に向けてのメイク	
12	テスト	作品作りに合わせて、実技テストを行う	
13	作品作り③	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り	
14	作品作り④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り	
15	総合授業	まとめを行う	

シラバス						
		_	科目の基礎情報①			
授業形態	実習	科目名		美容実習	I - F	
必修選択	必修	(学則表記)		美容実習	I - F	
		開講			単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	斗	2	60
使用教材				出版社		
			科目の基礎情報②			
授業のねらい	美容室として現場	場で求められる資	資質や運営方法を具体的に理	解する。		
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。					
評価基準	企業側評価60% 学校側評価40% (ビジネスマナー20%・各コース該当項目20%)					
認定条件	・出席が総時間数の50時間以上の者 ・成績評価が2以上の者					
関連資格						
関連科目	就職対策Ⅰ・ビジネスマナー					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。					
担当教員	具 実務経験 実務経験					
実務内容						

シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 ビジネスマナー 講義 科目名 ビジネスマナー 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 年次 ヘアメイク科 30 1年 学科 1 サービス接遇検定公式テキスト3級 使用教材 サービス接遇検定実問題集3級 出版社 早稲田教育出版 就職ハンドブック 科目の基礎情報② 授業のねらい 敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける サービス接遇検定3級に合格する。 到達目標 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる。社会人としてのマナーを身につける。 【前期評価】テスト50%、課題・提出物30% 授業態度等20% 評価基準 【後期評価】テスト40%、検定試験30%、課題・提出物20%、授業態度10% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 サービス接遇検定3級 就職対策 関連科目 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

 \bigcirc

実務経験

	各回の展開			
回数	単元	内容		
1		授業の目的・到達目標について ビジネスマナーを学ぶ意味を知る		
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められているものについて		
3	サービススタッフの資質	必要とされる要件の復習・従業要件について		
4	専門知識・一般知識	サービス知識、従業知識、一般知識について		
5	対人技能(敬語)①	様々な接遇用語・敬語について		
6	対人技能(敬語)②	尊敬語・謙譲語・二重敬語について		
7	対人技能(一般的なマナー)	動作を行う際の基本・ポイントについて		

ANA客室乗務員 ファーストCA資格取得。エアラインスクール、大学での日本の接遇講座業務。

就職支援講師ビジネス専門学校や企業新人研修にて講師業務。

担当教員

実務内容

堀 優子 他1名

8	対人技能①	人間関係について	
9	対人技能②	一般的なマナー・接遇者としてのマナーについて	
10	対人技能③	話し方について	
11	実務技能①	問題処理について	
12	実務技能②	環境整備・金品管理について	
13	社交業務	社交儀礼の業務について	
14	総復習	1~13回までの総復習	
15	総合授業	総まとめ	
16	検定対策授業	復習と練習問題	
17	検定対策授業	復習と練習問題	
18	検定対策授業	復習と練習問題	
19	検定対策授業	復習と練習問題	
20	検定対策授業	復習と練習問題	
21	検定対策授業	復習・検定問題の解答・解説	
22	敬語・社会常識 SPI・時事問題 ①	就職活動に向け、筆記対策や履歴書について	
23	社交文書 ①	縦書き・横書きレイアウトについて 文書の種類・文書の構成・頭語と結語・時候の挨拶・前文、末文の慣用句	
24	社交文書 ②	就職活動における社交文書について	
25	社交文書 ③	郵便の基礎知識~宛名の書き方、返信はがき、お礼状について	
26	理想の美容従事者像	お客様から愛され・親しまれる美容従事者について	
27	実技演習①「受付~誘導」	受付から誘導のロールプレイング演習	
28	実技演習①「面接練習」 実技演習②「電話応対」 実技演習③「お茶出し」	面接試験の種類とチェックポイントについて 面接ロールプレイング	
29	実技演習①「面接練習」 実技演習②「電話応対」 実技演習③「お茶出し」	電話のかけ方・受け方、伝言メモ、予約電話のシミュレーション	
30	総合授業	まとめを行う	

科目の基礎情報① 授業形態 講義 科目名 カラー&ファッション カラー&ファッション 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 年次 1年 学科 ヘアメイク科 1 30 新配色カード 日本色研事業(株) パーソナルカラーコーディネート検定テキスト 使用教材 出版社 クリエスクール パーソナルカラーコーディネート検定課題集 科目の基礎情報② ファッションの知識と共にヘアメイクとしてのトータルコーディネートとメイクとしての似合わせ等のカラー知識 授業のねらい を学ぶ 到達目標 様々なシーンでトータルコーディネートをする時に、しっかりとした理由付けが出来る 評価基準 テスト50%、提出物30% 授業態度等20% 出席が総時間数の3分2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 パーソナルカラーコーディネート検定(任意) 関連資格 関連科目 美容実習 I-C 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 小島由記子 他2名 担当教員 実務経験 \bigcirc 色彩検定対策講座、パーソナルカラーコーディネーター育成講師 実務内容 ファッションスタイリスト、ブランディングトレーナーとして現在も活動中

回数	各回の展開 内容			
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がり		
2	服の歴史について①	服の成り立ち(古代~中世)		
3	服の歴史について②	服の成り立ち(中世〜近代)		
4	コレクションについて①	コレクション開催4都市について コレクションの歴史		
5	コレクションについて②	コレクションブランドについて(シーズンサイクルなど)		
6	コレクションについて③	オートクチュール		

7	コレクションについて④	プレタポルテ(レディース・メンズ)	
8	コレクションについて⑤	コレクションの歴史と開催都市等の総まとめ	
9	トレンドについて①	雑誌、SNSの見方と情報収集	
10	トレンドについて②	トレンド研究を行う	
11	ファッションデザイナー①	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる	
12	ファッションデザイナー②	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる	
13	ファッションデザイナー	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画(コンセプトシートの作成)	
14	ファッションデザイナー	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画(コンセプトシートの作成)	
15	総合授業	まとめを行う	
16	パーソナルカラー	色の面白さやイメージを知る	
17	色の連想	色彩心理前に自分の感じる色を考えてみる	
18	色の連想色の特徴①	無彩色、有彩色、三属性、トーンについて	
19	色の特徴②	無彩色、有彩色、三属性、トーンについて	
20	色の心理的効果 慣用色名	心理的効果について 色を表す言葉について	
21	配色①	色相、トーンについて	
22	配色②	配色の応用、イメージ配色	
23	色と光について	色の見える仕組み 視覚のメカニズム	
24	対比と同化	対比と同化について	
25	混色	混色の原理について	
26	パーソナルカラーの基礎①	パーソナルカラーの基礎 セルフチェックを行う	
27	パーソナルカラーの基礎②	パーソナルカラーの基礎 セルフチェックを行う	
28	パーソナルカラーのアドバイス①	ファッション、ヘアカラー、メイク、ネイル、ブライダルについて	
29	パーソナルカラーのアドバイス②	ファッション、ヘアカラー、メイク、ネイル、ブライダルについて	
30	総合授業	まとめを行う	

シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 未来デザインプログラム 講義 科目名 未来デザインプログラム 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 年次 学科 ヘアメイク科 1年 1 30 7つの習慣」テキスト、夢のスケッチブック 使用教材 出版社 FCEエデュケーション 科目の基礎情報② 三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社 授業のねらい 会人/職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する ・「自立|と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する 到達目標 ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できる様になる 小テスト/レポート:20% 授業態度:40% 評価基準 提出物:40% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 なし 関連資格 関連科目 キャリア支援/就職対策等

備考

担当教員

実務内容

原則、この科目は対面授業形式にて実施する

諸星 理恵 他 5名

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

実務経験

	された。				
	- All All All All All All All All All Al				
回数	単元	内容			
1	専門学校へようこそ!	未来デザインプログラム授業への価値付けを行い、日誌を書くことの意味や今日から実行できる機会を考える			
2	自分制限パラダイムを解除しよう!	自分制限パラダイムの概念を知り、自分制限パラダイムを取り払った状態で行動が継続できる様に考える			
3	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解すると共に、自分自身への約束を守る大切さを学ぶ			
4	刺激と反応	刺激と反応の考え方を理解し、どの様な状況でも一時停止ボタンを使い主体的に判断・行動していくことの大切さをえる			
5	言霊~ことだま~	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ			
6	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を優先順位を考えながら整理しいく大切さを学ぶ			
7	選んだ道と選ばなかった道	自分の選択は自分の気持ち次第であり、自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ			
8	割れた窓の理論	規則を守る大切さ、重要性を理解する			

9	人生のビジョン	10年後のなりたい自分を考えることにより、入学時に考えた「卒業時の姿」をより具体的に考える	
10	自分の価値観を知る	なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深堀りすることで、将来のなりたい姿を具体的にイメージできるプロセスを学ぶ	
11	大切なこととは?	なりたい自分になるために優先すべき「大切なこと」は、夢の実現や目標達成に直接関係することだけではなく、間接 的に必要なこともあることを学ぶ	
12	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ。自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ	
13	時間管理のマトリクス	第2領域(緊急性はないが重要なこと)を優先したスケジュール管理について学ぶ	
14	私的成功の振り返り	主に私的成功の習慣(前期授業内容)の復習(知識確認)	
15	リーダーシップを発揮する	リーダーシップを発揮するためには、「主体性」が問われることを学ぶ	
16	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ	
17	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ	
18	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ	
19	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということを学ぶ	
20	相乗効果を発揮する	多様性や人と違いがあることに価値があることを学ぶ	
21	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える	
22	未来は大きく変えられる	人生は選択の連続あり、未来は自分の選択次第であることを学ぶ	
23	人生ビジョンを見直そう	自らが立てたライフプランを現実的な視点から見つめ、必要な軌道修正を考える	
24	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿(仕事、家庭、趣味など)を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーション を高めていく	
25	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする	
26	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える	
27	7つの習慣授業の復習	7つの習慣の関連性を学ぶとともに、私的成功が公的成功に先立つことを理解する	
28	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラム授業で学んだことの復習(知識確認)	
29	2年生に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える	
30	2年生に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える	

科目の基礎情報① ベーシック・パーソナルメイク 授業形態 演習 科目名 必修選択 (学則表記) ベーシック・パーソナルメイク 選択 開講 単位数 時間数 ヘアメイク科 年次 1年 学科 3 90 メイク道具一式 使用教材 ユアサポート 出版社 メイクアップテキストベーシック (デジタルテキスト) 科目の基礎情報② 授業のねらい スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。 スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 到達目標 人にメイクが出来るようになる。 テスト50%、提出物30% 授業意欲20% 評価基準 出席が総時間数の3分2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 メイクアップ検定ベーシック(後期) 関連資格 関連科目 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 小松 真奈美 他4名 担当教員 実務経験 \bigcirc 某化粧品会社にて美容部員経験6年。スキンケア、ベーシックメイクからショーメイク製品を用いた接客販売 実務内容 教育を担当。 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 単元 内容 回数 授業の目的目標、評価基準、授業ルール オリエンテーション 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法) スキンケア スキンケア(手順)、反復練習 2

スキンケア復習、

ベースメイク(手順)

スキンケアテスト10分

ファンデーション(手順の復習、質感・多色塗)

ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)

ポイントメイク(アイシャドウ)

ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り

スキンケア/ベースメイク

スキンケア/ベースメイク

ベースメイク/ポイントメイク

ベースメイク

3

5

1		
7	セルフメイク	セルフメイク
8	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
9	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)
10	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)
11	フルメイク	ベースメイクから、全てのポイントメイクを行う
12	フルメイク	フルメイクテスト35分×2、ベーシックテクニックの振り返り
13	ソフト	フルメイク(ソフト)
14	シャープ	フルメイク(シャープ)
15	総合授業	まとめを行う
16	フルメイク/座学	検定試験に向けて試験概要の伝達 フルメイク(ソフト)
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)
22	プレ検定	スキンケア10分・フルメイク34分行う テスト扱いとする
23	苦手克服	フルメイク(苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定筆記対策を行う) アドヴァンス検定(任意受験)対策
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践 アドヴァンス検定(任意受験)対策
25	錯覚	錯覚について導入、実践 アドヴァンス検定(任意受験)対策
26	色、質感	色、質感について導入、実践 アドヴァンス検定(任意受験)対策
27	色、質感	色、質感について導入、実践 アドヴァンス検定(任意受験)対策
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト アドヴァンス検定(任意受験)対策
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト/振り返り アドヴァンス検定(任意受験)対策
30	総合授業	まとめを行う アドヴァンス検定(任意受験)対策

科目の基礎情報① 授業形態 テクニカルヘアメイク 演習 科目名 必修選択 選択 (学則表記) テクニカルヘアメイク 開講 単位数 時間数 年次 ヘアメイク科 2 1年 学科 60 メイク道具一式 使用教材 出版社 ユアサポート ヘアアレンジテキスト 科目の基礎情報② 授業のねらい 頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。 ブラッシング・ピニングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。 編み込みやコテの使用等のヘアアレンジが出来る様になる。 到達目標 就職活動に必要なセルフテクニックを知る。 評価基準 テスト50%、提出物30% 授業意欲20% 出席が総時間数の3分2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者 関連資格 関連科目 備考 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 担当教員 実務経験 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 回数 単元 内容 シニヨン・土台作り/重ね夜会巻き シニヨン・土台作り/夜会巻き導入 シニヨン・土台作り/重ね夜会巻き 2 シニヨン・土台作り/夜会巻き復習 重ね夜会巻き/本夜会巻き 夜会巻き復習 3 重ね夜会巻き/本夜会巻き 夜会巻きテスト、振り返り 5 カールアップ カールアップ導入 スタイル作り① カールアップを使ったスタイル作り

7	スタイル作り②	カールアップを使ったスタイル作り
8	ハーフアップ/ダウンスタイル①	普段や流行を取り入れたスタイル作り
9	ハーフアップ/ダウンスタイル②	普段や流行を取り入れたスタイル作り
10	スタイルチェンジ①	アップ➡ハーフ➡ダウンとチェンジ出来るスタイル作り
11	スタイルチェンジ②	アップ➡ハーフ➡ダウンとチェンジ出来るスタイル作り
12	新日本髪①	テーマに合わせたスタイル作りと振り返り
13	新日本髪②	テーマに合わせたスタイル作りと振り返り
14	新日本髪④	テーマに合わせたスタイル作りと振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス 科目の基礎情報① 授業形態 実技 科目名 スチール撮影実習 | スチール撮影実習 | 必修選択 選択 (学則表記) 開講 単位数 時間数 年次 学科 ヘアメイク科 30 1年 1 カメラ機材 使用教材 出版社 筆記用具 科目の基礎情報② 【スチール撮影実習 | 】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によっての注意点等を理解し、実践力を 身につける 授業のねらい 【SNS・WEB・フォトスキル】美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケ ティング・集客を理解し実践できるようになる。 【スチール撮影実習Ⅰ】 色・光・影の出方によるメイク映えを知る 撮影中の注意事項を理解する 到達目標 【SNS・WEB・フォトスキル】 顧客の共感や集客につながるメッセージや写真をTwitter、Instagram、LINE@などのSNSやWEBを通じて発信でき るようになる。各コンテンツの基礎知識から運用ルールを把握、理解し、実践できるようにする。 【スチール撮影実習Ⅰ】テスト50%、提出物30% 授業意欲20% 評価基準 【SNS・WEB・フォトスキル】テスト40%、提出物30% 授業態度等30% 出席が総時間数の3分2以上ある者 認定条件 成績評価が2以上の者

関連資格

関連科目

備考

担当教員

実務内容

翌熟状況等により授業の展開が変わることがあります

実務経験

	省熱状沉寺により授業の展開が変わることがありま				
	各回の展開【スチール撮影実習丨】				
回数	単元	内容			
1	オリエンテーション 光と影について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)			
2	写真のバランス・レイアウト	レイアウトやモデルのポージングについて			
3	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 カメラの構え方やレンズの使い方を知る			
4	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 露出補正を使いながら意図する明るさで撮る			
5	カメラの使い方	撮影のフィードバックとレンズワークによる遠近感の変化 絞りやレンズワークによる背景のポケ方の説明			
6	レフの使い方	室内でレフを使った撮影練習			

フォト&ファッション、美容実習 I -E、スチール撮影実習 II

原則、この科目は対面授業形式にて実施する。

7	作品作り①	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
8	作品作り②	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
9	スチール①	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
10	スチール②	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
11	スチール③	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
12	テスト	作品作りに合わせたテスト、振り返り
13	作品作り③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
14	作品作り④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
15	総合授業	まとめを行う
		各回の展開【SNS・WEB・フォトスキル】
回数	単元	内容
1	WEBマーケティングとSNS	SNSアカウント運用、広告、HP、LPの役割、ベルソナの設定などの基礎知識の講義
2	Instagramマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
3	Twitterマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
4	公式LINEアカウントマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
5	Youtubeマーケティング	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
6	Facebook/Tiktokなどの各種SNSについて	概要、成功事例、運用法則の講義、身近な良い活用事例の発表
7	炎上防止と炎上があった際の対策	ケーススタディ
8	画像撮影、加工の基礎	講義+実践
9	写真の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
10	動画の撮影について	基礎的な技法の講義と実践
11	ライティングの基礎	講義+実践(9回目、10回目で撮影した写真・動画を使ってSNSの更新を行う)
12		SNSで人気のあるLPの紹介と簡易LP構築ツールを使用したLPの作成
13	WEB・SNS広告の概要と基本思想	講義(リスティング、SNS、GDN、YDN)それぞれの効果的な活用方法と特徴
14	WEB・SNS広告、SNSアカウントの分析方法	WEB・SNS広告、SNSアカウントの分析方法を学ぶ
15	総合授業	総まとめ

科目の基礎情報① 授業形態 講義 科目名 就職対策I 必修選択 就職対策I 必修 (学則表記) 開講 単位数 時間数 年次 1年 学科 ヘアメイク科 1 30 使用教材 出版社 Jump up なし 科目の基礎情報② 専門学生としての自覚を持たせ、目的意識を持って学校生活を送る 授業のねらい 就職活動の流れを理解する。 到達目標 魅力的な履歴書の書き方を習得する。 評価基準 授業態度30%・提出物30%・テスト40% ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 認定条件 ・成績評価が2以上の者 関連資格 なし 関連科目 なし 備考 担当教員 小松 真奈美 他1名 実務経験 実務内容 習熟状況等により授業の展開が変わることがあります 各回の展開 単元 内容 回数 個人の学校生活の目標 専門学生としての自覚を持たせる。一年間の目標を立て行動の意識を高める 業界 就職について知る 卒業してどのような職場に入れるのかを説明。 ヘアメイク就職の違い。 就職までのスケジュール 就職(実習)までの大まかな流れを説明 学生と社会人の違い 社会人と学生の違いに関してJump upを使用し説明 HM ヘアメイク業界・SNSについて ヘアメイク業界の特色説明・SNSについて 就職ルールについて 報連相の徹底

7	自己分析	自己分析ワークシートを使用し自己分析。 自分自身を知る事で自分の長所や短所、向いているサロンなどを見つけやすくする.
8	サロン、企業研究	将来像の意識、目標を見つける為にどのような企業、職場があるかを調べる。2回目就職先イメージ、探し方、主な ヘアメイクさんなどの紹介
9	サロン見学について	社会人として、職業人としての基本的な身だしなみ、電話のかけかた
10	就職ジャンル導入	後期のジャンル別説明会導入
11	就職試験の流れ	内定までの流れ
12	面接	面接についての知識やマナーを学ぶ。
13	履歴書作成	履歴書の書き方、マナーを学ぶ
14	総まとめ	総まとめ
15	総合授業	総まとめ
16	ヘアメイク科今後について	主にヘアメイク職業を中心にどのように目指していくのか、どのような資格をとっていくのか再導入。
17	後期の目標設定	後期の目標設定を行う。目標を設定する事で将来の為に今すべき事を知る。 ジャンル別始動各説明会
18	就職活動のルール確認	就職活動に関してのスケジュール、ルールを確認する 徹底・内容の考案
19	求人票の見方	求人票の見方を学ぶ。どのような内容が掲載されているのか知る。
20	履歴書作成	ジョブ・カード「キャリア・プラン作成補助シート ステップ1」を使用し人生のエピソードを書き出す。
21	履歴書作成	ジョブ・カード「キャリア・プラン作成補助シート ステップ1」を使用し人生のエピソードを書き出す。
22	現場実習に関しての指導①	実習に必要な書類の準備
23	現場実習に関しての指導①	実習に必要な書類の準備
24	現場実習に関しての指導@	お礼状作成
25	就職写真	身だしなみ指導、撮影
26	現場実習に関しての指導③	Jump upを使用し、実習中に起こり得る事態と、それに対しての対策を学ぶ。
27	就活スケジュール	春休み中の動き方・受験心得、受験報告書について 受験心得⇒後期はじめがよい
28	就職対策テスト	テスト実施
29	総まとめ	総まとめ
30	総合授業	総まとめ